

3つのポリシーについて

1. アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本校では、空の仕事のスペシャリストとして、知識や技術を身につけることを目指す学生を募集します。本校の教育理念をよく理解し、航空業界の専門家になりたいという高い意欲を持つ者に対して、多様な選抜方法により、多面的・総合的な評価を行う。

知識・技能

- 高等学校の教育課程において履修および学習した基本的な知識や技能を有している人
- 本校の希望する学科・専攻への入学の目的、意義を自覚した行動がとれる人
- 自身の考えを持ち、伝えることができる人
- 幅広く、より深く学ぶための基礎的能力をもっている人

思考・判断・表現

- 本校の希望する学科・専攻の分野で社会に貢献しようとする人
- 新しいものに挑戦する意欲のある人
- 知的好奇心や主体的に学ぶ意欲を持ち、目的に向かって努力できる人

関心・意欲・態度

- 本校の希望する学科・専攻の分野で技術や知識を身につけ社会に貢献しようとする人
- コミュニケーションを図り、他者と協働して物事を進められる人
- 社会に貢献するために具体的な目標を立て行動できる人

2. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

授業計画の作成について

本校では、各学科長、校長等を中心に授業計画（シラバス）の作成に向けた取り組みを年度末頃より行い、それぞれ目標とする人材育成に必要な科目や時間数を定め、各学科の特色と目標に合わせた教育目標、育成人材像を業界のニーズも含め検討し作成を開始する。

対象年度当初（3月頃）に各学科（講師含む）で実施する授業計画会議等を通じて、授業計画を立て、校長の承認を得て実施と公開を行う。

具体的には、担当授業の「到達目標」「成績評価方法」などをもとに当該年度の授業計画を立て、設定した「到達目標」へと学生を導くための計画を実施する。また、進捗状況や理解度等を確認しながら授業計画や方法等を適宜見直すことも行っている。

また、学科として本校では、3学科に分かれてはいるが、近年、募集される職種などでも学科のスキルが交わることもあることから、学科の教員間で互いの到達目標等を確認し共有することも行っている。

学生は、授業計画に記載されている到達目標、成績評価方法等の情報から、その授業を履修し科目を修得するための学習内容情報を把握する。

各科目の評価、単位認定は科目ごとに行われ、「出席率」、「課題・レポート提出」、「定期試験」等により、科目担当教員が総合評価として単位認定の可否を判定する。「課題・レポート提出」では学修成果（小中大問などの課程ごとの課題やレポート）としての総合評価で点数を算出し、「定期試験（記述式または記号選択問題の筆記試験）」と合わせ、科目毎に100点満点の6割以上の点数取得と70%以上の出席率が必要となる。また、取得点数が6割未満の場合は再試験にて合格点を取得する事、あるいは科目ごとの出席率が70%未満の者は不足出席時間数分の補講を受講することで単位認定が行われる（整備訓練コースは別途制定）。

3. ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

本校所定の課程を終了し、学科により異なるが、必要とされるすべての単位を取得した者には卒業証書を授与する。単位取得には「前述 2. の記載と同様」であり、「成績評価基準」に記載されている条件を満たしている必要がある。

4. 各学科の教育目標と卒業認定について

航空整備士学科（整備訓練コース）

教育目標

1年次

1. 航空機整備に必要な基本的な知識・技術について習得する。
2. 11月に行われる航空従事者学科試験（国家試験）の二等航空運航整備士試験全3科目合格をめざす。
3. 課外授業などを通じて広い視野や、コミュニケーション能力などを養う。

2年次

1. それぞれの就職先の業種に応じ、必要な知識・技術を深める。
2. 整備訓練課程として求められる知識・技術の定着を目指す。

卒業認定について

各年次の所定の科目に合格している者について卒業証書を授与する。

各科目の合格は、

- 定期試験（各年次、前期と後期）における評価が70点以上
- 出席時限数が所定の教育時限数の80%以上であり、欠席時限を全て補習で回復していること（専門科目のみ）

航空整備士学科（整備技術コース）

教育目標

1年次

1. 航空機整備に必要な基本的な知識・技術について習得する。
2. 航空機製造等に必要な基本的な知識・技術について習得する。
3. 課外授業などを通じて広い視野や、コミュニケーション能力などを養う。

2年次

1. それぞれの就職先の業種に応じ、必要な知識・技術を深める。
2. 社会人として必要な礼儀やマナー、コミュニケーション能力を身につける。

卒業認定について

各年次の所定の科目に合格している者について卒業を認定する。

また、次に掲げる目標を達成した学生に対し卒業を認定する。

- 本学科で履修した業種に関する知識、技術が身についている。
- 社会人として必要な礼儀やマナー、コミュニケーション能力を身につけている。

エアポート学科（グランドハンドリングコース）

教育目標

1年次

1. 航空業界の各種業務に対し視野を広げて理解させ、企業のかとなり得る行動を習得する。
2. 航空機の運航に関する地上支援業務（グランドハンドリング）の基礎知識と技能を身につける。
3. 地上支援業務（グランドハンドリング）として求められるチームワークおよび目標に向けて協働出来るコミュニケーション能力を身につける。
4. 課外授業などを通じて広い視野を持たせ、社会人基礎能力を身につける。

2年次

1. 飛行機の地上支援業務（グランドハンドリング）遂行における一層の知識、技能の向上を図る。
2. 地上支援業務（グランドハンドリング）上の安全、品質管理、また、問題意識を持った行動の必要性を身につける。
3. チームワークを重視した実習で地上支援業務（グランドハンドリング）の技能向上を目指す。
4. それぞれの就職先の業種に応じ、必要な知識・技能を深める。

卒業認定について

所定の課程を終了し、必要とされるすべての単位を取得した者には卒業証書を授与する。単位取得には「成績評価基準」に記載されている条件を満たしている必要がある。

なお、エアポート学科（グランドハンドリングコース）においては、次に掲げる目標を達成した学生に卒業認定を行う。

- 本学科で履修した航空業界に関する知識、技能を有している。

- チームで働く力（規律性・責任性・協調性・積極性）を意識した行動ができる。
- 社会で活躍できる基礎能力を持ち、専門知識・技能を有し、責任ある行動ができる。

エアライン学科（グラウンドスタッフコース）

教育目標

1年次

1. 航空業界で求められる英語力を習得し、資格試験に合格（取得）するとともに、実務で活用できる英会話力を実践的に身につける。
2. 航空の基礎知識を理解し、実践的に活用できる技量を身につける。
3. 接客者として求められるホスピタリティマインドや接客マナー、コミュニケーション力を身につける。
4. 目的意識を持ち、自ら進んで学ぶ習慣を身につけ、知識・技量を継続的に高めていく力を身につける。
5. 課外授業を通じて広い視野を持ち、社会的スキルの向上を行う。

2年次

1. 航空業界・社会で求められる知識や技量の定着を図る。
2. 向上心・探求心・問題意識を持ち、自ら考え主体的に行動することができる。
3. 他者を受容し、多様な価値観を理解できる異文化コミュニケーションに基づく関係構築ができる。
4. 就職先で勤務に必要な社会的スキルを身につける。

卒業認定について

所定の課程を終了し、必要とされるすべての単位を取得した者には卒業証書を授与する。単位取得には「成績評価基準」に記載されている条件を満たしている必要がある。

なお、エアライン学科（グラウンドスタッフコース）においては、次に掲げる目標を達成した学生に卒業認定を行う。

- 本学科で履修した航空業界に関する専門的な知識、技量を有している。
- 問題解決のための的確なコミュニケーション能力を身につけている
- 現代社会を支えていく者としての自覚を持ち、専門的知識を生かしながら、一社会人として責任ある行動をとることができる。

エアライン学科（客室乗務員コース）

教育目標

1年次

1. 航空業界で求められる英語力を習得し、資格試験に合格（取得）するとともに、実務で活用できる英会話力を実践的に身につける。
2. 航空の基礎知識を理解し、実践的に活用できる技量を身につける。
3. 接客者として求められるホスピタリティマインドや接客マナー、コミュニケーション力を身につける。

4. 目的意識を持ち、自ら進んで学ぶ習慣を身につけ、知識・技量を継続的に高めていく力を身につける。
5. 課外授業を通じて広い視野を持ち、社会的スキルの向上を行う。

2年次

1. 航空業界・社会で求められる知識や技量の定着を図る。
2. 向上心・探求心・問題意識を持ち、自ら考え主体的に行動することができる。
3. 他者を受容し、多様な価値観を理解できる異文化コミュニケーションに基づく関係構築ができる。
4. 就職先で勤務に必要な社会的スキルを身につける。

卒業認定について

所定の課程を終了し、必要とされるすべての単位を取得した者には卒業証書を授与する。単位取得には「成績評価基準」に記載されている条件を満たしている必要がある。

なお、エアライン学科（客室乗務員コース）においては、次に掲げる目標を達成した学生に卒業認定を行う。

- 本学科で履修した航空業界に関する専門的な知識、技量を有している。
- 問題解決のための的確なコミュニケーション能力を身につけている
- 現代社会を支えていく者としての自覚を持ち、専門的知識を生かしながら、一社会人として責任ある行動をとることができる。

エアライン学科（航空貨物取扱コース）

教育目標

1年次

1. 航空業界・物流業界で求められる英語力を習得し、実務で活用できる英会話力を実践的に身につける。
2. 航空・貿易の基礎知識を理解し、実践的に活用できる技量を身につける。また、IATA ディプロマ資格を取得する。
3. 多種多様な人と正確な意思疎通が図れるコミュニケーション能力を磨く。
4. 目的意識を持ち、自ら進んで学ぶ習慣を身につけ、知識・技量を継続的に高めていく力を身につける。
5. 課外授業を通じて広い視野を持ち、社会的スキルの向上を行う。

2年次

1. 航空、物流業界・社会で求められる知識や技量の定着を図る。
2. 向上心・探求心・問題意識を持ち、自ら考え主体的に行動することができる。
3. 他者を受容し、多様な価値観を理解できる異文化コミュニケーションに基づく関係構築ができる。
4. 就職先で勤務に必要な社会的スキルを身につける。

卒業認定について

所定の課程を終了し、必要とされるすべての単位を取得した者には卒業証書を授与する。単位取得には「成績評価基準」に記載されている条件を満たしている必要がある。

なお、エアライン学科（航空貨物取扱コース）においては、次に掲げる目標を達成した学生に卒業認定を行う。

- 本学科で履修した航空・物流業界、貿易に関する専門的な知識、技量を有している。
- 問題解決のための的確なコミュニケーション能力を身につけている
- 現代社会を支えていく者としての自覚を持ち、専門的知識を生かしながら、一社会人として責任ある行動をとることができる。